

〈編集後記〉

大学改革がいわれている。本学科も、カリキュラムの面で新しい方法を模索しているが、何より形ではなく、教員スタッフの日頃の研鑽が学科の将来を支えるものと確信している。

そんな中で『相愛国文』は、学科発展の大きな力になっている。本号で、はや七号を出すに及び、六つの論稿を載せることができた。人文学部の中西健治先生には青山会所蔵本「紀式部集」についてご寄稿いただいた。

平成五年度の国文学科について。前年度で退任された池田勇先生にかわり、橋本雅之先生に来ていただいた。池田先生は専任教員として十年の長きにわたり本学科のために尽され、国語学関係の科目、国語科教育法を担当され、その間、学科主任などを通じて、教育活動、学科の整備にあたられた。学科一同、深く感謝する次第である。

池田先生をはじめ、かつての先生方の計り知れない努力をふまえてのことは無論だが、若い先生方をむかえ、ますます活気ある学科になりつつある。

(S)

〈執筆者一覧〉

山本和明	本学国文学科専任講師
鈴木徳男	本学国文学科教授
鳥井正晴	本学国文学科助教授
橋本雅之	本学国文学科助教授
中西健治	相愛大学人文学部教授
北谷幸册	本学国文学科教授

相愛国文 第七号

平成六年三月二十五日 印刷

平成六年三月三十日 発行

編集・発行 相愛女子短期大学国文学研究室

〒559 大阪市住之江区南港中四丁目一

Tel 〇六一六一二一五九〇〇(代)

印刷所 和泉書院

〒543 大阪市天王寺区上汐五丁目三十八

Tel 〇六一七七一一四六七